

ソウルで世界ソーシャルワーク会議開催 & ブラジルから2教授研究所を訪問！

世界中に広まるShukutoku University

ソウルで世界ソーシャルワーク会議開催

6月27-30日、韓国ソウルの国際会議場COEXにて2年に一度のソーシャルワークの世界会議が開催されました。世界のソーシャルワーク関係3団体、国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)、国際社会福祉協議会(ICSW)によるものです。テーマは「人々の尊厳と価値を高めよう」。

本研究所から秋元樹研究所長、松尾加奈、菊池結両研究員が参加。本研究所が協力しているアジア太平洋ソーシャルワーク教育学校連盟(APASWE)の総会、理事会、ブースの準備運営に貢献するとともに、淑徳大学研究所の出版物、印刷物を展示・配布、その活動をひろく紹介しました。菊池研究員は「災害時に備えての仏僧のためのソーシャルワーク情報共有システム」を報告しました。

本研究所が現在進めているAPASWEへの協力、大学院連携論博プログラムの故もあって本学Shukutoku Universityの名はすでにアジア中に相当に広まっています。ブースには論博プログラムについての応募予定者、南米・アフリカからの参加者を含め多くの問い合わせる人々が訪れました。本学との連携希望の声も多く届けられました—「研究所が日本との窓口になってほしい」「MOUの提携をしたい」「スピリチュアルや仏教、イスラム教という宗教とソーシャルワークの可能性を探る淑徳大学と連携したい」「アフリカで開催されるソーシャルワーク会議で講義して欲しい」。さらに、故多々良紀夫淑徳大学教授のアメリカ時代に同僚だったというアメリカの高齢者虐待防止活動NGO会長スーザン・ソマーが訪れ「淑徳大学に彼の遺志がまだあることに感銘を受けた」と話されました。

ブラジルから2教授、研究所を訪問

7月1日、サンパウロ・フェデラル大学アナ・ロハス・アコスタ教授(Profa. Dra. Ana Rojas Acosta, Universidade Federal de São Paulo, Brazil)とピアウイ・フェデラル大学マリア・ド・ロサリオ・デファティマ・エ・シルバ教授(Profa. Dra. Maria do Rosario de Fátima e Silva, Universidade Federal do Piaui, Brazil)が本研究所を訪問、戸塚法子総合福祉学部長の歓迎の挨拶で迎えました。

本学とブラジルの関係について、秋元所長より理事長のメッセージが伝えられるとともに昨年作成された学祖について"Together with him"(英語版)をプレゼントしたところ大変感激した様子で感謝の言葉を述べられました。両教授は、アジア国際社会福祉研究所を通じ、国際共同研究、国際ワークショップやシンポジウムの開催、教員や学生の留学・訪問など今後の本学と交流を図りたいとのべておられました。

